

伝言らん

※掲載については広報聴係へご相談ください。締め切りは発行日の1か月前です。

催しもの

■安城市民博覧会 『◎記念カード』展

市民の皆さんが市民博で作った記念カードを展示します。
とき▶12月3日(火)正午~15日(日)午後5時 ところ▶三河安城物産コーナー(新幹線三河安城駅構内) 入場料▶無料 問い合わせ▶美術教室わかいめ会(住吉町/☎98)0802)

■第29回三河・名古屋 形象派カルトン画展

とき▶12月5日(木)~8日(日)午前9時30分~午後6時(8日は午後4時30分まで) ところ▶文化センター 入場料▶無料 その他▶8日の午後1時30分から3時まで実習体験コーナーを開設 問い合わせ▶田中直代さん(今本町/☎98)5014)

■ふれあい ダンスパーティー

収益金の一部を安城善意銀行に預託します。
とき▶12月8日(日)午後1時30分~4時 ところ▶中部公民館 参加費▶500円 問い合わせ▶石川ただしさん(池浦町/☎090)6338)3739)

■オーガニックの 生チョコクッキング

安城学園土曜講座で、フェアトレードチョコを使った、ケーキ作りなどを行います。
とき▶12月14日(木)午前10時~正午 ところ▶安城学園高校 参加費▶学生600円、一般900円 問い合わせ▶ぎたんじやり(今池町/☎98)2699) または同高校土曜講座係(小堤町/☎76)5105)

■市民クリスマス ダンスパーティー

収益金の一部を安城善意銀行に預託します。
とき▶12月15日(日)午後1時30分~4時30分 ところ▶総合福祉センター 参加費▶前売券800円、当日券1000円 その他▶

クリスマスプレゼントあり 申し込み・問い合わせ▶山本幹雄さん(大岡町/☎76)5510)へ

■第5回愛知学泉大学 オーケストラ定期演奏会

クリスマスチャリティーコンサートで楽しいひとときを。
とき▶12月23日(日)午後3時~5時 ところ▶市民会館 入場料▶前売券1500円、当日券1800円 申し込み・問い合わせ▶同会館(☎75)1151) または愛知学泉大学国際交流室(☎0565)35)1316)へ

ただいま募集中

■ハッピーダンスクラブ

とき▶毎週日曜日 初級/午前9時~10時30分、中・上級/午前10時30分~正午 ところ▶二本木公民館 会費▶月額3500円 問い合わせ▶増田ふじゑさん(篠目町/☎76)4564)

■サムシングブルー

季節の花を使ってアレンジしてみませんか。
とき▶毎月第2水曜日午前10時30分~正午 ところ▶文化センター 会費▶無料(ただし花代として3500円) 申し込み・問い合わせ▶池田育美さん(名古屋市/☎090)1093)6103)へ

■碧海・幡豆ウオーキング 協会

安城市を含めた碧海・幡豆地域を対象に、自然と郷土を愛し、楽しく歩くことを目的としています。月1回以上の例会を開催。
会費▶年額2000円、入会金500円、傷害保険年額500円 申し込み・問い合わせ▶西川阿羅漢さん(今池町/☎98)7652)へ

■安城市民吹奏楽団

とき▶毎週水・金曜日午後7時~9時30分、火曜日午前10時~正午 ところ▶青少年の家 会費▶一般・大学生月額1500円、高校生月額1000円 申し込み・問い合わせ▶フォトボックス内大石敦子さん(東栄町/☎98)8883)へ

しょうとうかい 祥陶会

代表◆石川きり子さん(新田町)
☎74)5497

われらの 仲間



「陶芸」それは大人の粘土遊び

結成は平成3年。市内で陶芸を行っている自主グループの中では最も古く、今年で11年目を迎えるのがこの「祥陶会」です。メンバーは28人で土曜日の午前9時から午後4時まで安祥公民館で活動しています。

「趣味がなくて、何かやってみようと思ったのがきっかけです。想像以上に楽しくて、もっと早く始めればよかった」「生け花をやっている、器も自分で作ってみたいになったんです」「大人が無邪気に粘土遊びをするようなものですよ」と、きっかけや魅力は十人十色。作るものもさまざま、トイレの手洗い用の器、めだかを飼う鉢、小さな花挿し、食卓に並べる食器など、一人ひとり形も大きさも違います。また集中力を必要とするため、製作中は個人の時間が多くなります。しかし、休憩の時などいったん個々の作業から離れると、和気あいあいとした空気に包まれ、指導を行う待田和



宏さんを囲んで活発な意見交換が行われることもあります。そのためメンバー間の結束力が非常に強くなり、自然と会が長く続くことにつながっているそうです。

そして、陶芸の最大の山場は、窯で焼く作業。当然そこには幾多の悲喜こもごもが。「窯から取り出した自分の作品を見て、思わず壊してしまいたくなるようなときも。でも、うまいといったときは本当に感動しますよ。その直前のワクワクドキドキする感覚も陶芸の魅力なのかもしれないですね」とメンバーは話してくれました。